



「土湯温泉町」(福島市土湯温泉町)

平成23年10月1日発行(毎月1回1日発行)第483号

ふくしま 法人ニュース



法人会キャラクターけんたくん

2011

10

ふくしま街歩き今昔



法人ニュースふくしま 2003年10月号より

新首相のもと閣僚・補佐官も新たに決まったが、民間組織では、社長が新たな目標を決めれば、役員・社員も一所懸命知恵を出し、行動するが当然。しかし、我が国の省庁の官僚は、どうだろうか? 日本国危急存亡の今この時に国益のために働いてくれることを願う。
(岩見記)

「お囃子(はやし)」の稽古音がかすかに聞こえます。笛、太鼓、小太鼓、鉦(かね)、拍子(ひょうし)をとるのは、鉦です。三味線が無いのは、さびしい気もします。子供のころは、何気なく山車の囃子(はやし)を耳にしていたが、いまお囃子を聴くと郷愁にかられる。

「お囃子(はやし)」の稽古音がかすかに聞こえます。笛、太鼓、小太鼓、鉦(かね)、拍子(ひょうし)をとるのは、鉦です。三味線が無いのは、さびしい気もします。子供のころは、何気なく山車の囃子(はやし)を耳にしていたが、いまお囃子を聴くと郷愁にかられる。

里山を歩いて自然豊かな風景を楽しむのによい季節になりました。早朝、車で出かける結核遠くの里山を目指すことが出来ま

す。秋空のもと、二、三時間里山を歩き、景色のよい高台を見つげ昼食。今朝、握ったおにぎりをほおぼる。具は、「紀州の梅干」。放射線を気にしなくてもいいからうまい。

私のポケット



平成23年度税制改正について

Q 平成23年度の税制改正のうち法人税関係の改正の内容について教えてください。

A 「平成23年度税制改正法案」のうち、「政策税制の拡充・納税者利便の向上・課税の適正化」「期限切れ租税特別措置の延長等」に係る措置については、新たな法律案「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための所得税法等の一部を改正する法律案」として国会に提出され、平成23年6月30日に公布・施行されました。

なお、この新たな法律案の提出に伴い、「平成23年度税制改正法案」は修正・存置することとされ、「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律案」として国会で審議中です（平成23年9月9日現在）。
税制改正のうち、法人税関係の主な内容については次のとおりです。

○雇用促進税制の創設

青色申告法人が、平成23年4月1日から平成26年3月31日までの間に開始する各事業年度において、当期末の雇用者（法人の使用人のうち雇用保険の一般被保険者であるものをいい、使用人から役員の特典関係者及び使用人兼務役員は除かれます。）の数が前期末の雇用者の数に比して5人以上（中小企業者等については2人以上）及び10%以上増加していることにつき証明がされるなど一定の場合に該当するときは、20万円に基準雇用者数を乗じて計算した金額の特別控除ができることとされました。ただし、当期の法人税額の10%（中小企業者等については20%）相当額が限度とされています。

○中小企業者等の法人税率の特例の延長

中小企業者等の法人税率の特例について、平成23年3月の改正法により適用期限が平成23年6月30日までの間に終了する各事業年度まで延長され、今回の改正によりその適用期限が平成24年3月31日までの間に終了する各事業年度まで延長されました。

○事業基盤強化設備等を取得した場合等の特別償却又は特別税額控除

事業基盤強化設備等を取得した場合等の特別償却又は特別税額控除について、その適用期限が平成24年3月31日まで延長されました。

平成23年分年末調整説明会を次のとおり開催いたします。

開催年月日	開始時間	会場	対象地域
11月9日(水)	13時30分	福島テルサ FTホール	・福島市のうち飯坂地区、北信地区を除く地域 ・川俣町
11月10日(木)	10時		
11月10日(木)	13時30分		
11月15日(火)	13時30分	伊達市 ふるさと会館 MDDホール	・福島市のうち飯坂地区、北信地区 ・伊達市、国見町、桑折町
11月16日(水)	10時		

県税からのお知らせ

自動車税の納付は10月31日までに！
自動車税は、毎年4月1日現在の自動車の所有者に（割賦販売の場合は使用者）に課税される県の税金です。

今年度は東日本大震災に伴い原子力災害区域に係る一部市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）を除き、10月31日（月）が納期限となります。最寄りの金融機関や各地方振興局の窓口のほか、コンビニエンスストアでも納付できますのでご利用ください。ただし、納期限を過ぎるとコンビニエンスストアでは納付できませんので、必ず納期内に納付してください。

また、納付の際に受け取る「納税証明書」は、車検を受けるときに必要となりますので、大切に保管してください。
なお、納税通知書が届かない場合は、最寄りの地方振興局県税部までお問い合わせください。

年末調整についてのお問い合わせは、024-534-3121
福島税務署（音声案内ダイヤルボタン「2」を選択して下さい。）
内線243源泉所得税担当にお尋ねください。



地域金融機関と 税理士の役割

東日本大震災からはや半年余りが経ちました。その大震災により平成二十三年三月十一日から九月三十日まで間に到来する全ての国税の申告・納付等の期限が延長されましたが、国税庁の発表により、平成二十三年九月三十日と期日が指定（一部地域を除く。）されたところです。このこ

とは我々の業務も含め、震災前の平常時に戻りつつあることを意味します。いつまでも震災のせいにはできなくなるといふことなのかもしれません。

さて、延長された中小企業金融円滑化法の新監督基準では、債務者の経営課題を把握した上で、適切な助言などにより債務者自身の課題認識を深め、その課題を解決するための方策を提案・実行するというコンサルティング機能の発揮に際し、金融機関が果たすべき役割について述べています。具体的には経営課題の把握・分析とその事業の持続可能性の見極め、債務者の課題認識・主体的な取り組みへの促進、最適なソリューション（経営課題を解決するための方策）の提案、経営再建計画の策定支援、ソリューションの実

行及び進捗状況の管理などです。

また、地域密着型金融機関は資金供給者としての役割にとどまらず、中小企業に対する経営支援や地域経済の活性化への貢献が強く期待されていますが、その意義についての理解やそのコンサルティング機能の具体策が不十分であり、短期的かつ表面的な実績を重視することが阻害要件になって、人材やノウハウの面でも顧客企業に対し十分なソリューションの提案ができていないことなど、課題が残っているのが現状です。

そのような中、我々税理士にも外部専門家として、同業他社比較による顧客企業の強みや経営課題等の把握と分析、顧客企業による業績管理体制の構築支援や正確な財務資料の早期作成支援という日常的な役割とコンサルティング機能の出発点でもある実現可能性の高い抜本的な経営再建計画の策定やその計画の実現可能性に懸念がある場合には更なる経営努力を求め、金融機関には返済計画の見直しを提案するなど、経営目標実現や経営課題解決のための中立的・客観的な立場からの役割が求められています。

中小企業に対して同じ役割（思い）をもつ金融機関と税理士にぜひご相談ください。

東北税理士会福島支部 佐藤昌彦

村井幸三さんの 「へーなるほど」

十月一日は新しい酒造年度の始まりです。

折も折、本県産のソバ焼酎「福島風・出会い」が今年初のモンドセレク

ションの蒸留部門で金賞を受賞したとのニュース、モンドセレクションといえは国際的な食品品評会です。焼酎党の私にとっては「やったア」という嬉しい知らせでした。そこで今月は焼酎について少々知ったかぶりを致します。

焼酎、高粱酒、ブランデーなど世界には様々な蒸留酒がありますが、民族固有の発酵酒のアルコール度を高め酔い心地をよくする蒸留技術が発明されたのは八世紀といわれています。それが回りまわってわが国、というより当時は隣国であった琉球に伝わったのは、およそ十五世紀頃のように、出来あがったのがご存じの「泡盛」です。最近では泡盛といっても鹿児島焼酎の一種のように思われていますが、元をたどれば焼酎のご先祖様で、その醸造技術が江戸時

代のはじめ、琉球を征服した鹿児島藩に伝えられたことから、鹿児島県が今や国内最大の醸造産地となっているのです。

原料のはじめは米でした。しかし江戸時代の米は高価です。そこで代わりに麦が使われ、江戸時代中期にサツマイモが広く栽培されてからは芋が使われ始め、その三種が主流であることは今も変わりません。

製法はいずれを原料にするにしても、発酵したもろみを加熱沸騰させ、その蒸気を冷却してアルコールを凝縮する、それだけなのですが米焼酎ならフルーティな香りと繊細さ、麦焼酎は米ほど癖がなくてしかも麦独特の香ばしさとまろやかな甘み、芋焼酎はサツマイモ特有の甘さと心地好い柔らかさが感じられます。

各蔵元にはもろみの発酵状況や蒸留の温度など、他社にはおしえない秘伝があるのでしょね。

最後に「洋酒天国」からの引き写しですが、米と麦は水割りがストリート、芋はお湯割りでやるのが通だそう、割りもあらかじめ自分好みの量を舌になじませておくと、料理の味も一段とひき立つのだそうです。



会員の心づな



株式会社
靴工作社いたがき
代表取締役社長
板垣 泰一氏
(伊達郡桑折町万正寺字宮ノ西1-3)
TEL (024) 582-5223

絵・文 ややまひろし

桑折町の工業団地にある靴工作社いたがき。この会社のゆるぎないトライアングルに圧倒された。会長の靴職人としての凄い技術、社長のサッカーで鍛えた人をまとめる力と攻めと守りの経営力、専務の芸術大学を出た現代的なデザイン力、正直、三人の名人芸に度胆を抜かれた。

会長の板垣航二氏は昭和七年横浜生まれ。手先が器用で最初、柔道着や剣道などの武具、野球のグローブのものづくりにしていたが、戦後、東京の八木靴製作所で皮革靴の製造技術を会得した。その後、エース(株)に入社、世界一のブランドとなったサムソナイト・スニーカーの開発・製造に貢献した。

社長の板垣泰一氏は昭和三十六年東京生まれ。現在まで十八回引越えをしたというのでびっくり。中学、高校時代からサッカーに目覚め大阪体育大学でサッカー部で活躍。その後サッカー人生。全国各地で試合を重ね、現在のJリーグの監督さんらとはほとんど同期である。その後独立、初めてサッカースクールを経営し、会員は三百名ほどいたという。

創業者の航二氏、自分の手で自分らしい靴をつくりたいとエースを退社、平成三年、縁あって国見町に(株)靴工作社いたがきを設立した。

そして平成十二年、現在地に移転した。自分の想いを息子に引き継いでもらいたい、と長男の泰一氏と次男の良二氏を入社させた。泰一氏が福島に戻ったのが平成十二年、社長に就任したのが平成十五年である。創業時、十五人だった社員も現在は三十八人。家庭的な雰囲気なかで仕事が進められている。いたがきの靴は手作りの良さ洒落たデザインの高級品である。直接購入出来るのは本社にあるショールームと郡山うすい百貨店だけであり、そのほかは日本の一流百貨店のイベント会場だけである。

三越、伊勢丹、高島屋、大丸、松坂屋、阪急、阪神、近鉄など簡単に取引出来るいところばかり。

「どうして契約できたんですか？」

「二年のうち三百日ほど全国の百貨店を訪問し契約しました。この背景には世界のブランド、エースのサムソナイト旅行靴の開発にかかわったこと。それに日本

特有の繊細な技術が加味された靴が製造出来たことだと思います。それに福島で創業出来たことは、国見町、桑折町の人々の温かさ、援助があったからだと思います」

と謙虚な心使いを見せてくれる。ショールームで製品を見せてもらったが、素人なりにデザインの素晴らしさ、手作りの技に感動した。全て専務の良二氏のデザインはさすが芸大出身、またその機能性は三年間北海道の板垣で修行を重ねただけのものが感じられる。

ショールームにいたがきの宣伝広告のパネルが展示されていたが凄く美人モデルの写真が入っている。見とれていると「うちの娘ですよ」と軽く社長がいうので、またまたびっくり。商品のこだわりは「ユーモアがある、楽しさがある、使い勝手がいい」会社全体が凄く才能の人間集団だと感じた。

【10月のこよみ】
きのこの季節「食べさせるべきか…」



クイズに答えて金券をゲットしよう! 税金クイズ大会開催

法人会では、一般の方にも生活に身近な税について関心を持っていただくこと、福島市中央卸売市場で開催の「市場まつり」において、税金クイズ大会を開催いたします。クイズに答えて、金券をゲットしよう!

と き 平成 23 年 10 月 16 日 (日)
場 所 福島市中央卸売市場

詳しくは、
福島法人会ホームページを検索

